

日本放送協会 理事会議事録

(平成28年11月 1日開催分)

平成28年11月25日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成28年11月 1日(火) 午前9時00分～9時15分

<出席者>

榑井会長、堂元副会長、木田専務理事、森永専務理事・技師長、
今井専務理事、坂本理事、安齋理事、根本理事、松原理事、
荒木理事、黄木理事、大橋理事
上田監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

榑井会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 公益財団法人放送番組センターへの出捐について
- (2) 職務権限事項等の改正について

2 報告事項

- (1) 考査報告
- (2) 放送番組審議会議事録(資料)

議事経過

1 審議事項

(1) 公益財団法人放送番組センターへの出捐について

(関連事業局)

公益財団法人放送番組センター（以下、「センター」）への出捐（しゅつえん）について、審議をお願いします。

センターは昭和43年に設立され、平成元年の放送法改正を受けて平成3年度から、NHK、民放、横浜市の拠出による基金の運用益を財源に、放送番組を収集・保管して一般の視聴者に供する「放送番組ライブラリー事業」を行ってきました。

しかし、低金利の中で、基金の運用益のみによるライブラリー事業の運営が困難となったことから、センターは17年度以降、NHKと民放に毎年出捐を要請しています。NHKは、センターの社会的意義を踏まえ、民放と歩調を合わせて出捐要請に応じてきました。

19年度以降、NHKには毎年8,085万円の出捐要請がありましたが、センターは、24年度に公益財団法人に移行したことを契機に「向こう5年間の事業方針」を定め、24年度の出捐額に比べ、25・26年度は10%削減、27年度から29年度までは30%削減と、段階的に削減することとしました。28年度は、5,659万5,000円の要請がありましたので、この金額を出捐したいと考えます。

本件が了承されれば、11月8日開催の第1271回経営委員会に諮り、議決が得られれば、総務大臣に認可を申請します。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、次回の経営委員会に諮ります。

(2) 職務権限事項等の改正について

(経営企画局)

職務権限事項等の改正について、審議をお願いします。

今回は、関連団体管理に関する職務権限事項について改正するもので

す。

子会社管理体制の整備や所管部局との連携等について、関連事業局や本部局の職務権限事項に明記します。

本件が決定されれば、本日付で改正します。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

2 報告事項

(1) 考査報告

(考査室)

平成27年9月26日から10月26日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース20項目、番組57本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、天皇陛下の“生前退位”などを検討する政府の有識者会議が初めて開かれたこと、ノーベル医学・生理学賞に東京工業大の大隅良典栄誉教授が選ばれ、日本人のノーベル賞受賞が3年連続となったこと、アメリカ大統領選挙が最終盤に入ったこと、熊本地震から半年が経過した現在でも、地域住民の生活再建が課題となっていることなどがありました。

番組では、日本の住宅が抱えるリスクに迫った、NHKスペシャル「あなたの家が危ない～熊本地震からの警告」（10月9日放送）、戦後の神戸を舞台に、一人の母親として生きる道を模索しつつ、日本初の総合子ども洋品店を築いたヒロインの姿を描く、連続テレビ小説「べっぴんさん」の第1・2週（10月3日～10月15日放送）、心筋梗塞などにつながる深刻な脅威のメカニズムと対処法に迫った、NHKスペシャル「“血糖値スパイク”が危ない～見えた！糖尿病・心筋梗塞の新対策」（10月8日放送）、昆虫の生態・魅力に徹底的に迫る、「香川照之の昆虫すごいぜ！ トノサマバッタ」（Eテレ・10月10日放送）などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」のニュース4項目と番組2本の考査を実施しました。考査したのは、地震から半年が経った熊本と大分の復興の現状や外国人への情報発信の

取り組み、火山や離島がある九州の自然や歴史文化など、九州の今を4日間の中継やりポートで特集した「NEWSLINE」ほか（日本時間10月11日～14日放送）や、2度の熊本地震で脱線した九州新幹線の復旧作業の様子や第三セクター鉄道の復興への思いを紹介したJapan Railway Journal「Railways Back on Track」（日本時間10月7日放送）などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

（3）放送番組審議会議事録（資料）

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の平成28年9月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成28年11月21日

会長 梶井勝人